

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
(コード番号: 3612 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
(電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2026年2月期 (2025/3/1～2026/2/28)		上期						下期						通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	98.7	95.0	100.0	97.8	101.2	102.0	99.0	92.8	102.2					98.0	98.8
	店舗売上	※2	98.8	95.3	100.9	97.5	101.3	101.8	99.1	93.0	103.2				98.7	99.0
	既存店売上	※3	98.1	94.0	100.1	96.5	100.5	100.2	98.2	91.4	100.6				96.6	97.9
	Eコマース売上	※4	98.7	93.5	96.5	98.8	101.0	102.6	98.4	※5 92.2	98.6				95.8	97.8
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		※2	2,270	2,298	2,299	2,301	2,298	2,284	—	2,295	2,319				—	—
出店		21	31	8	3	4	4	71	18	32					50	121
	退店	13	3	7	1	7	18	49	7	8					15	64
	M&A	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
既存店対象店舗数		※3	1,999	2,024	2,025	2,023	2,015	1,992	—	※5 2,005	2,038				—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。
このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より除外となり、EC売上において年間通じて平均7.0%程度のマイナス影響と試算しております。

※5 2025年9月のEコマース売上前年比が92.0から92.2へ、既存店対象店舗数が2,003から2,005へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況) 休日数(前年差) 当月 ±0 前年同月 ▲1

・当月は、国内小売売上が前年同月比102.2%となり、内訳は店舗売上が同103.2%、Eコマース売上が同98.6%となりました。既存店売上は前年同月比100.6%でした。休日数の前年差はございません。

・店舗販路では、当月前半は先月の軟調な売上が継続したものの、シーズン切替えが出遅れた反省から店頭シフトを加速したところ、後半は気温低下を背景にコートやジャケットといった冬物アウターが立ち上がり、全体の巻き返しを牽引しました。EC販路もラクサス連結除外影響を除くと前年超の水準を回復しました。特に、後半のニット・アウター特集に代表される、店舗・EC連動の横断販促策が奏功したことから、自社EC「WOS」の良好なパフォーマンスがEC売上を大きく押し上げました。

・アイテム別では、アパレルは先月に活発化したカーディガンに続き、月後半はライナー付きジャケットやウールコートコートなど冬物プロパーが本格稼働しました。生活雑貨でも「レンジメイトプロ」やせいりなどの冬季用調理器具が人気化しました。ブランド別の売上では、「ワンズテラス」が代表格のライフスタイルの再加速に加え、アパレルも販売チャネルや顧客年齢を問わず全般的に盛り返しました。当月より完全子会社となったナルミヤも「プティマイン」を中心として総じて好調でした。

(参考: 前期実績)

2025年2月期 (2024/3/1～2025/2/28)		上期						下期						通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8	92.1	99.6	100.8
	店舗売上	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.4	98.9	93.5	98.8	99.6
	既存店売上	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.2	98.8	91.7	98.6	99.9
	Eコマース売上	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	98.6	87.9	102.4	105.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255	2,262	—	—
	出店	30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1	18	76	136
	退店	15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25	11	43	114
	M&A	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0	0	48	56
既存店対象店舗数		2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,011	1,989	1,986	—	—